

「夢見る力が「気」をつくる」

第12回目を迎えるに至った当ビジネスデザインシリーズですが、今回は、更に、産業の幅を広げて、JRビジネスを取り上げてみました。とりわけ、苦難を越えて新しい価値を創造しながら大躍進を遂げたJR九州の歩みは、デザイン学関係者の大いなる関心事であり、「発想力」「実行力」そして「それを可能にする源泉とは---」等々、学ぶべき要素が凝縮されているものと思料致します。今回は、下記内容を軸に、最前線で該社をけん引してこられた講師自らの経験を踏まえ、その哲学を大いに語って頂きます。



唐池 恒二氏

九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長

昭和52年4月	日本国有鉄道入社	平成 9年6月	九州旅客鉄道株式会社 経営企画部長
昭和61年2月	九州総局総務部人事課長	平成12年6月	JR九州フードサービス(株)代表取締役社長
昭和62年4月	(九州旅客鉄道株式会社 = JR九州 = 発足)	平成15年6月	九州旅客鉄道株式会社 取締役 営業部長
	九州旅客鉄道株式会社入社	平成18年6月	常務取締役 経営企画部長
平成 元年3月	船舶事業部 企画課長	平成20年6月	代表取締役専務 総合企画本部長
平成 7年3月	流通事業本部 外食事業部長	平成21年6月	代表取締役社長
平成 8年2月	JR九州フードサービス(株)代表取締役社長	平成26年6月	代表取締役会長

講演者

J R九州の歴史は逆境から立ち上がってきた歴史ともいえる。国鉄分割民営化後、当社は厳しい経営環境や度重なる自然災害など数多の困難を乗り越え会社も社員も強くなってきた。原動力のひとつは、夢みる力が生み出す「気」であると考えている。

「気」は、価値を創造し感動のエネルギーへと変化する。乗車されるお客さまのみならず、沿線の皆さまの心までも動かす「ななつ星in九州」は好例である。

新たな事業への挑戦、様々なプロジェクト完遂までのエピソードを交えながら、私の信じる「気」についてお話させていただき、人を動かし組織や地域を活性化させるためにはどうすべきか皆さまと考えていきたい。

2017 7月28日 金曜日

17:30 開始 *19:00頃より懇話会

京都大学デザインイノベーション拠点

KRP9号館 506 <http://www.design.kyoto-u.ac.jp/access/>

主催 京都大学デザイン学大学院連携プログラム
デザインイノベーションコンソーシアム

対象 京都大学教員・学生
デザインイノベーションコンソーシアム会員、一部招待者
定員 40名程度
参加費 無料 [懇話会1,000円]
運営 貫井孝 京都大学デザイン学ユニット 特任教授
申込 下記よりお申込み下さい
<https://pro.form-mailer.jp/fms/d71caabd123420>
締切 2017年7月20日 [木]
問合せ デザインイノベーションコンソーシアム 事務局
京都リサーチパーク(株) 山口
メール info@designinnovation.jp 電話 075-315-8522

